

2021年
暦年

県内景況・確報

◎概況

県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある。

●2021年暦年 おきぎん「カトレア」景況図●

県内景況



やや悪い

個人消費



やや悪い

建設関連



ふつう

観光関連



悪い

企業倒産



やや良い

雇用状況



やや悪い

2021年暦年の県内景況は、**個人消費関連**では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年を下回りました。百貨店売上高は3年連続で前年を下回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は2年連続で前年を下回り、新車販売台数も2年連続で前年を下回りました。

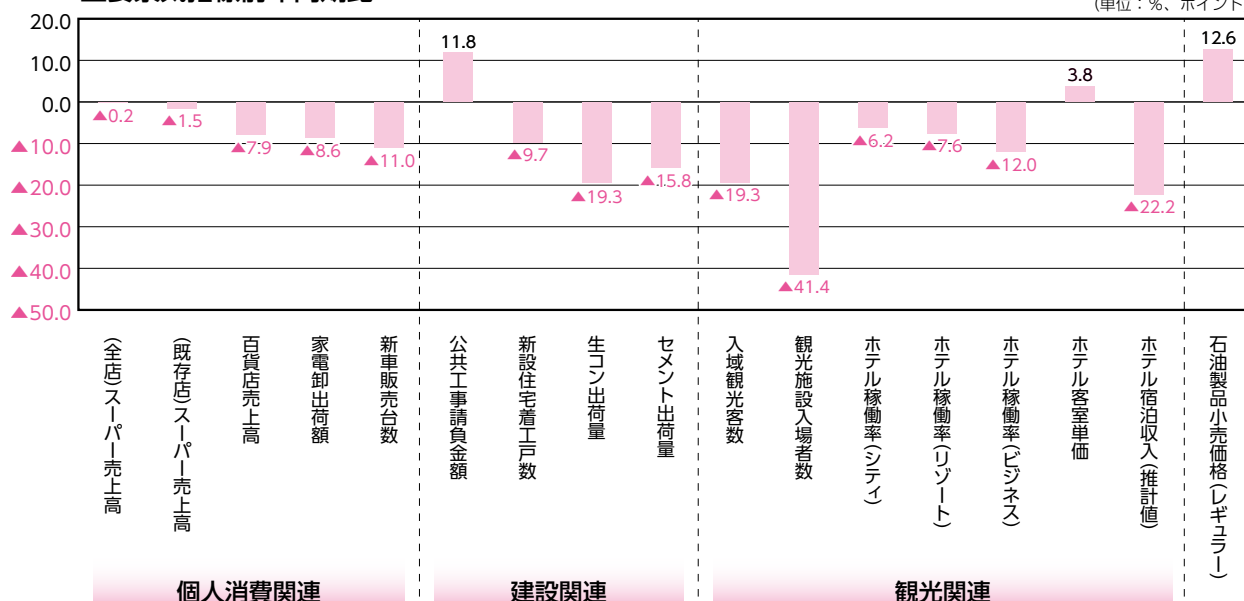
建設関連では、公共工事請負金額は4年ぶりに前年を上回りました。新設住宅着工戸数は3年連続で前年を下回り、建設資材である生コン、セメントはともに2年連続で前年を下回りました。

観光関連では、入域観光客数は2年連続で前年を下回り、観光施設入場者数は4年連続で前年を下回りました。ホテル稼働率について、シティホテルは6年連続、リゾートホテルは4年連続、ビジネスホテルは4年連続で前年を下回りました。ホテル客室単価は3年ぶりに前年を上回り、宿泊収入（推計値）は4年連続で前年を下回りました。

このような状況に鑑みて、**建設関連**は民間工事に弱い動きが続く中、**個人消費**および**観光関連**は新型コロナウイルス感染症の影響拡大により厳しい状況にあることから、「**県内景況は新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にある**」と景気判断をしました。

主要景気指標前年同期比

(単位：％、ポイント)





個人消費



(やや悪い)

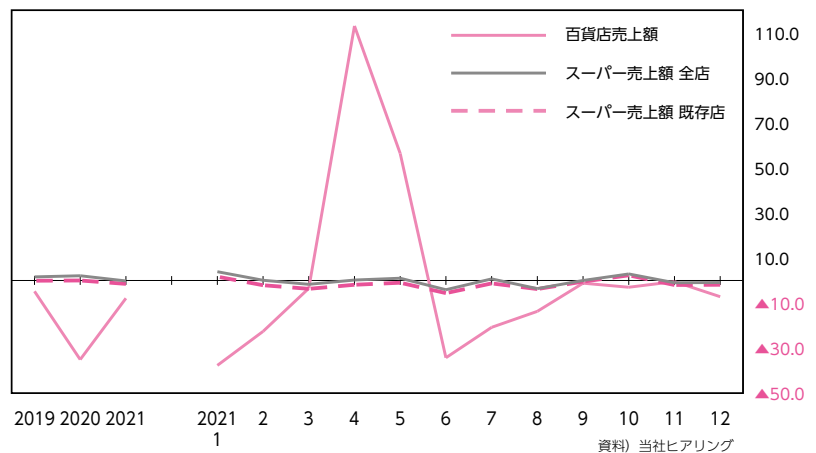
① スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベースともに前年を下回り、百貨店売上高も前年を下回る。

2021年の個人消費関連は、スーパー売上高が「全店ベース（前年比0.2%減）」は、新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛や週末の休業要請などにより前年を下回りました。品目別では、「食料品（同0.3%増）」は内食需要の高まりにより前年を上回りました。一方、「衣料品（同7.5%減）」や、家電を含む「家庭用品（同0.2%減）」は前年を下回りました。

2021年の「既存店ベース（同1.5%減）」は、前年を下回りました。（以下、既存店ベース）品目別では、ウエイトの高い「食料品（同0.9%減）」は、前年を下回りました。「家庭用品（同2.7%減）」は、家電等において昨年の特別定額給付金による需要増加の反動などから前年を下回りました。「衣料品（同6.1%減）」は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、外出自粛や衣料店舗の週末休業要請、不要不急の買い物を控える動きが見られたことなどから、前年を下回りました。

2021年の百貨店売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、休日の休業要請、インバウンド需要の減少、外出自粛による来店客数の減少などから、前年を下回りました（同7.9%減）。内訳をみると、ウエイトの高い「衣料品（同9.2%減）」は、来店客数の減少や、不要不急の買い物を控える動きなどから、「紳士服（同1.1%減）」、「婦人服（同5.1%減）」、「その他衣料（同48.0%減）」など、前年を下回りました。靴、バッグ等の「身の回り品（同7.1%減）」も前年を下回りました。「家庭用品（同23.4%減）」、「雑貨（同27.5%減）」は、売り場の一部をテナント化した影響により前年を下回りました。「食料品（同6.0%増）」は、外出自粛による内食需要の高まりにより、前年を上回りました。

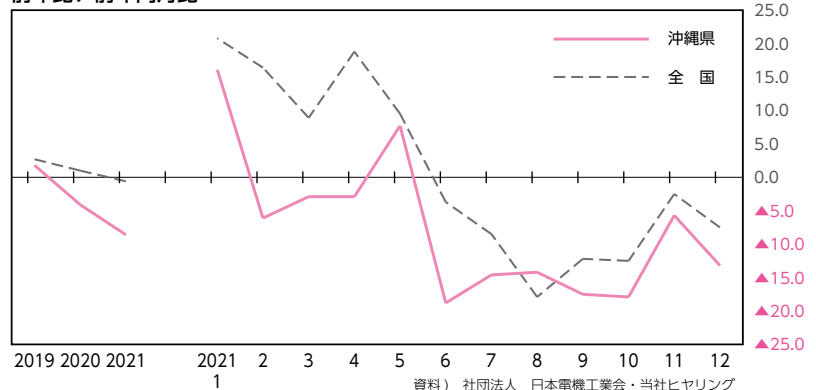
前年比、前年同月比



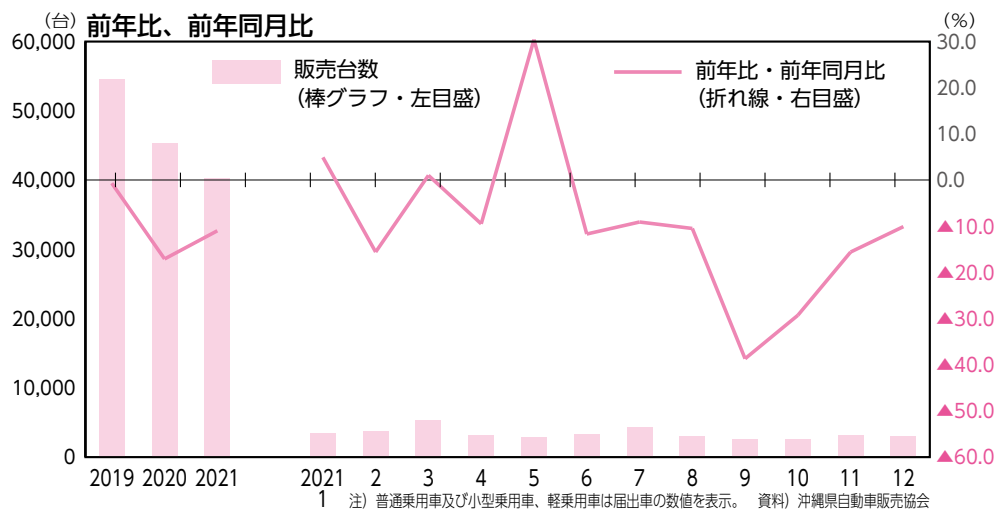
② 家電卸出荷額…家電卸出荷額は前年を下回る。

2021年の家電卸出荷額は世界的な半導体不足や新型コロナウイルスの影響に伴う東南アジア工場のロックダウンによる供給制限の長期化や、前年の特別定額給付金の反動などにより、前年を下回りました（同8.6%減）。「テレビ（同3.4%減）」、「冷蔵庫（同5.2%減）」、「レンジ（同7.8%減）」、「エアコン（同11.7%減）」は、供給制限や前年の反動などにより、前年を下回りました。

前年比、前年同月比



③ 新車販売台数…新車販売台数は前年を下回る。



2021年の**新車販売台数**は、全体で40,254台（同11.0%減）となり、前年を大きく下回りました。車種別では、「普通乗用車（同1.0%増）」となりました。一方、「小型乗用車（同31.8%減）」、「軽乗用車（同3.3%減）」となり、半導体不足による供給制限などにより、前年を下回りました。

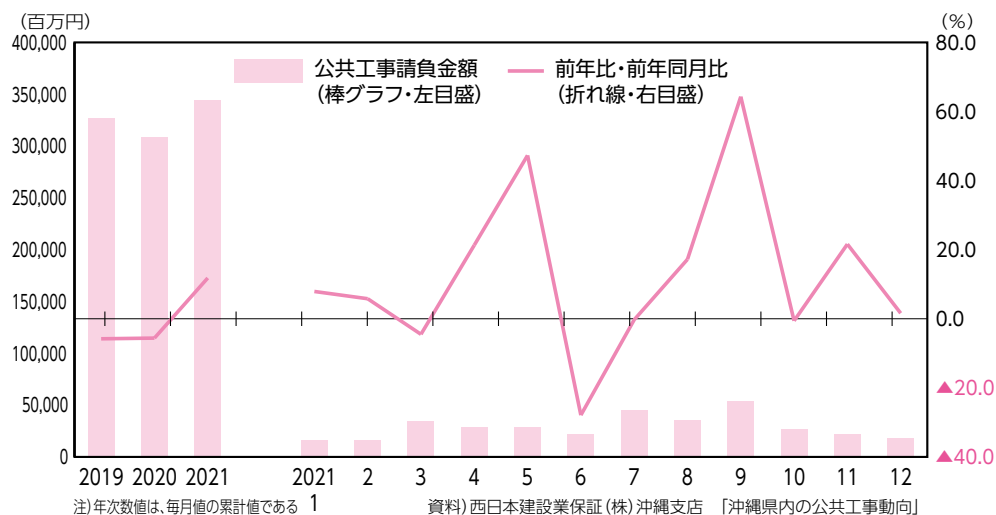
※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

建設関連



(ぶつつ)

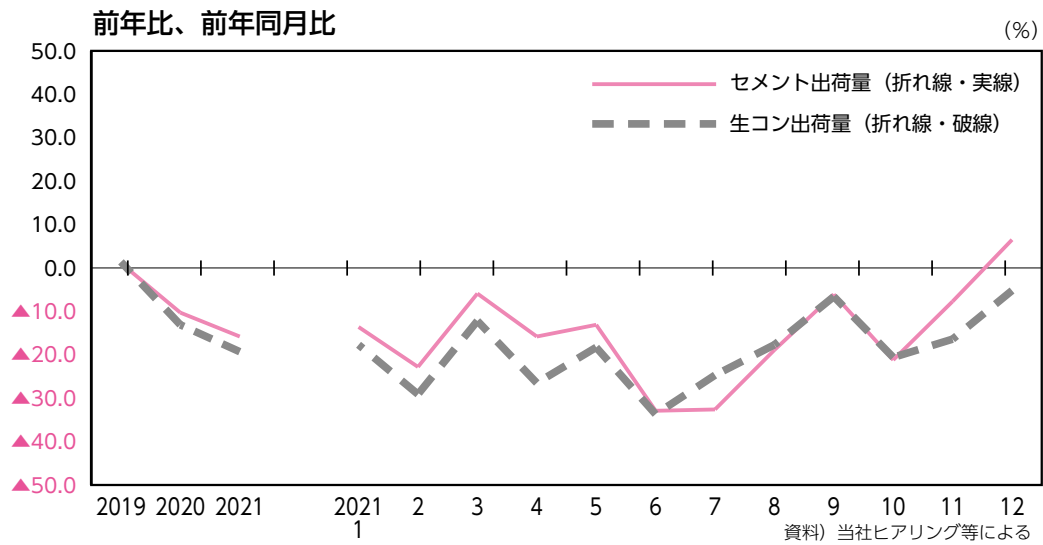
① 公共工事…公共工事請負金額は前年を上回る。



2021年の**公共工事請負金額**は、前年比11.8%増の3,443億7,600万円となりました。発注者別でみると、「独立行政法人等（同122.3%増）」や「その他の公共的団体（同41.0%増）」、「国（同32.7%増）」は前年を上回りました。一方、「沖縄県（同11.5%減）」、「市町村（同1.1%減）」は前年を下回りました。

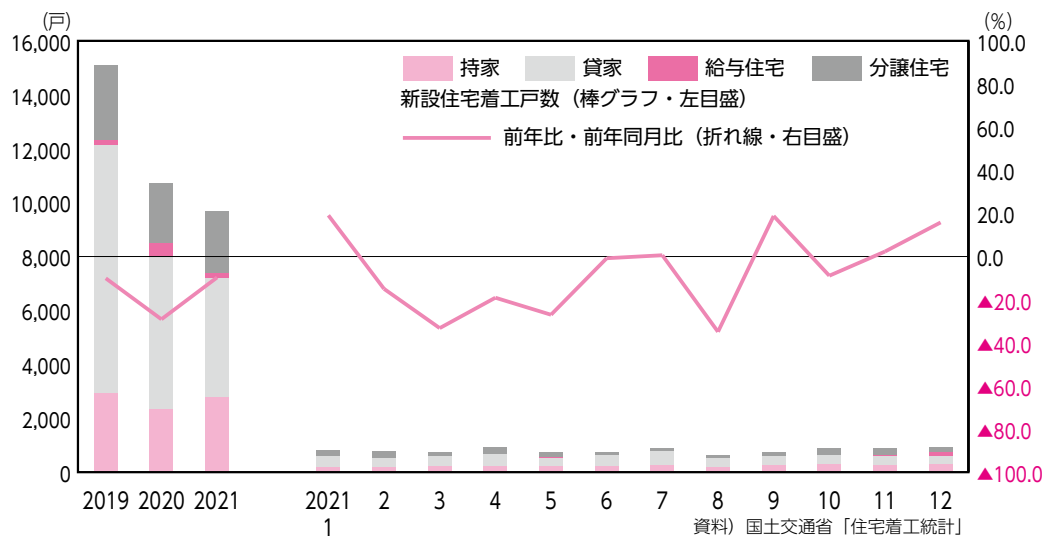


② 建設資材…生コン、セメントはともに前年を下回る。



2021年の**建設資材関連**では、**生コン**の出荷量は19.3%減と前年を下回りました。内訳では、公共工事向け出荷は前年より20.5%下回り、民間工事向け出荷は18.6%下回りました。**セメント**出荷量は15.8%減と前年を下回りました。

③ 新設住宅着工戸数…着工戸数は前年を下回る。



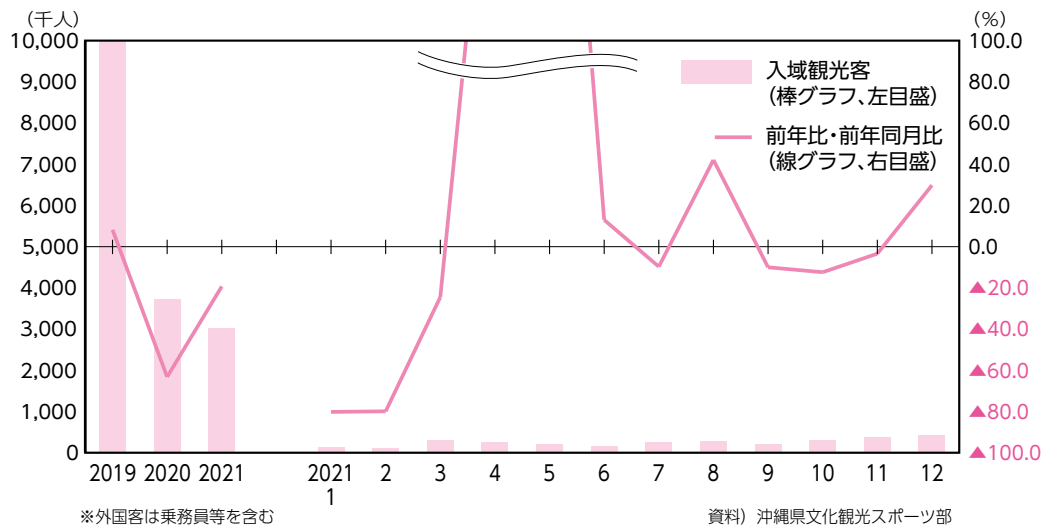
2021年の**新設住宅着工戸数**は、全体で9,668戸となり9.7%減と前年を下回りました。利用別戸数を見ると、ウェイトの高い「貸家 (同22.6%減)」のほか、「給与住宅 (同59.4%減)」は前年を下回りました。一方、「持家 (同19.0%増)」や「分譲住宅 (同4.0%増)」は前年を上回りました。

観光関連

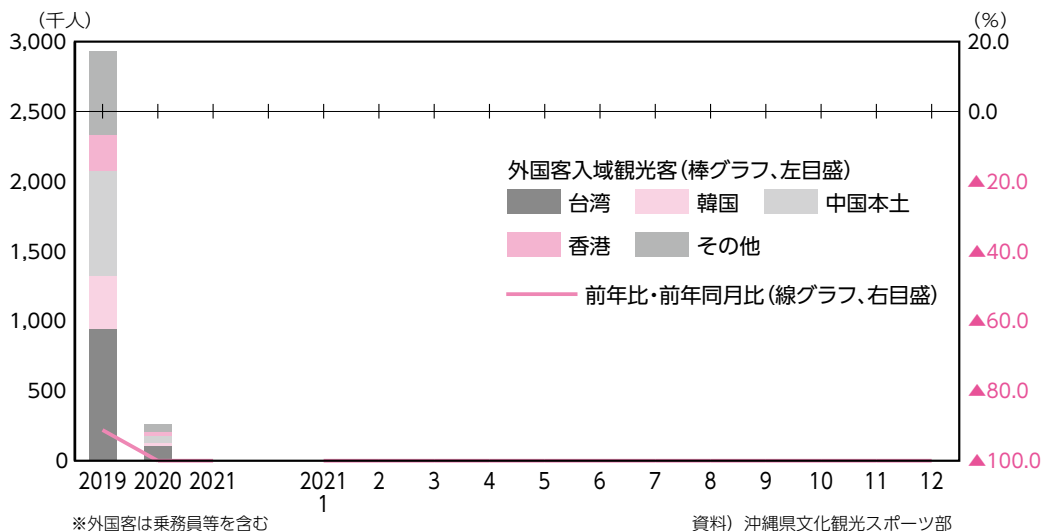


(悪い)

① 入域観光客数(国内客・外国客の合計)…前年を下回る。



外国客 入域観光客数…前年を下回る。



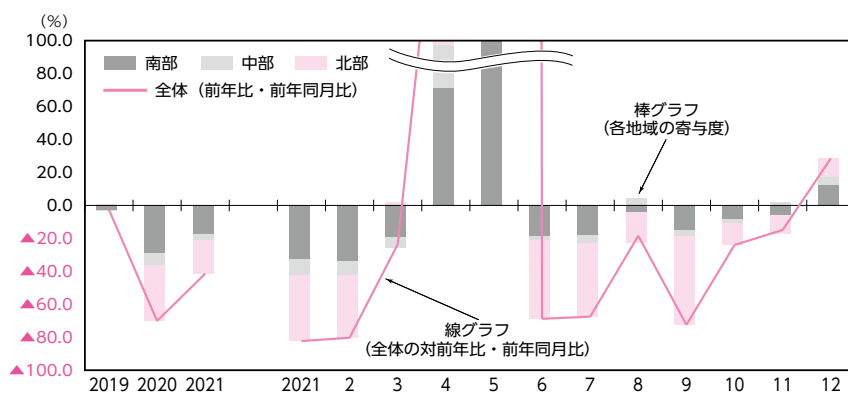
2021年の入域観光客数は、301万6,700人（前年比19.3%減）となりました。新型コロナウイルス感染症の影響による旅行自粛や、Go To トラベル事業の一時停止措置などから国内旅行需要が大幅に減少しました。1月20日より3回目の緊急事態宣言が発出され、2月28日まで続きました。また4月12日からまん延防止等重点措置、5月23日から9月30日まで4回目の緊急事態宣言が継続しました。緊急事態宣言、或いはまん延防止等重点措置の期間が長期にわたり、自粛を余儀なくされ前年同月を下回りました。

一方、「外国客（同100.0%減）」は、0人となりました（皆減）。新型コロナウイルス感染症の抑制のため、海外から日本への入国制限措置がとられていることが影響しております。



② 観光施設入場者数…前年を下回る。

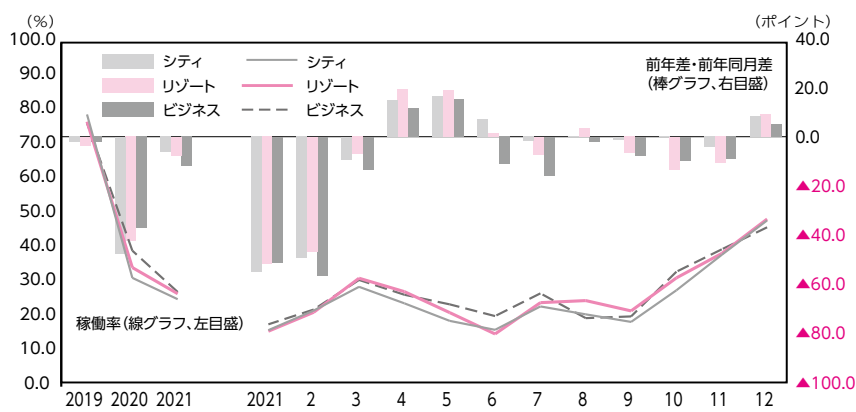
2021年の観光施設入場者数は、全体で前年比41.4%減少し、前年を下回りました。地域別にみると、南部にある観光施設は前年比48.5%減、中部は同36.5%減、北部は同37.8%減と、前年を下回りました。



※調査対象施設数=南部 6、中部 5、北部 4 施設 ※2019年1月より、中部の対象施設が変更(6⇒5)となったことから、数値を遡って修正した。
※2019年3月より、北部の対象施設が変更(5⇒4)となったことから、数値を遡って修正した。グラフは全体の寄与度を表示。資料) 当社ヒアリング

③ ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年を下回る。

2021年の県内ホテル稼働率は、シティホテルが24.2%と前年差6.2ポイント減少、リゾートホテルが25.8%と同7.6ポイント減少、ビジネスホテルが26.3%と同12.0ポイント減少しました。コロナウイルス感染拡大による旅行自粛や旅行マインドの低下、夏場のトップシーズンにおける緊急事態宣言発出(5月23日から9月30日まで)の影響などから前年を下回りました。

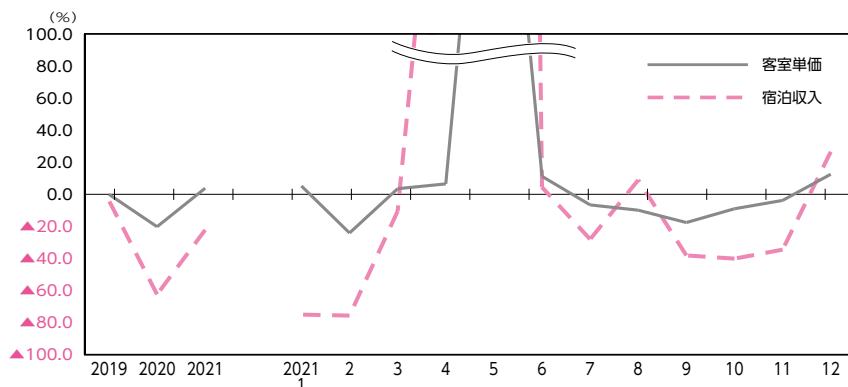


注) シティ 8 ホテル、リゾート 18 ホテル、ビジネス 4 ホテル ※2019年11月より、ビジネスホテル対象施設数(6⇒4)となったことから、数値を遡って改定した。
※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする。資料) 当社ヒアリング

④ ホテル客室単価・宿泊収入…客室単価は前年を上回り、宿泊収入は下回る。

2021年のホテル客室単価(シティ&リゾート)は前年比3.8%増と前年を上回りました。宿泊収入は同22.2%減と前年を下回りました。

シティホテル、リゾートホテルともに宿泊単価は改善傾向にある一方、稼働率低下の影響により宿泊収入は前年を下回りました。



※対象施設数: 26施設(シティ 8、リゾート 18)、ビジネスは除く ※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計) ※公表後に改定する場合があります。最新公表資料が確定値とする 資料) 当社ヒアリング



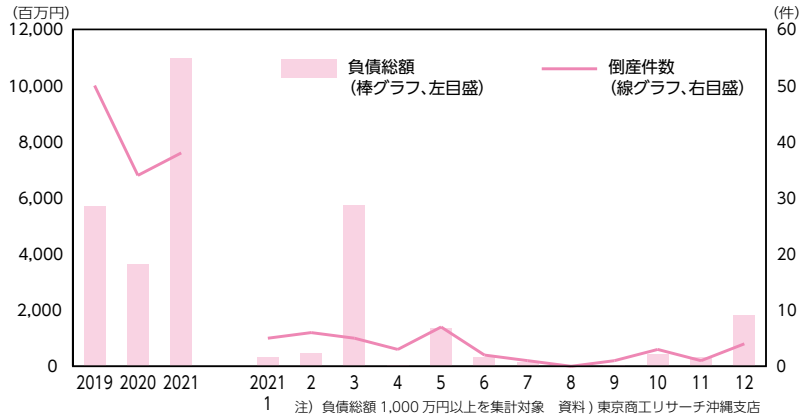
企業倒産



(やや良い)

① 企業倒産…倒産件数、負債総額はともに前年を上回る。

2021年の**企業倒産件数**は、38件（うち10億円以上の大型倒産は3件）となり、前年より11.8%上回りました。**負債総額**は109億8,900万円となり、前年より201.9%上回りました。



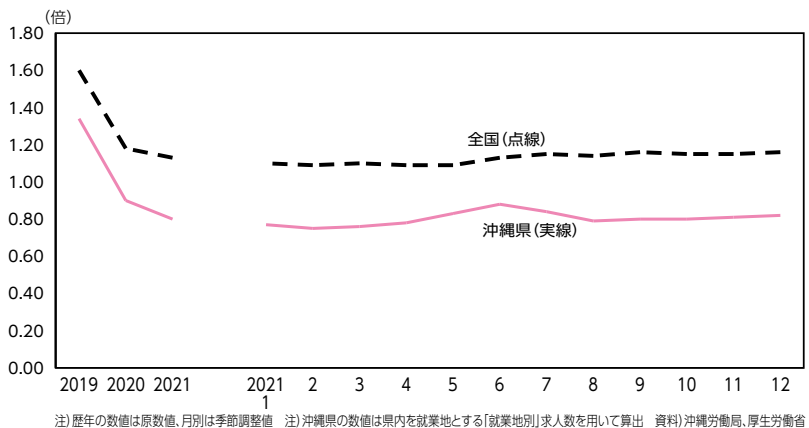
雇用関連



(やや悪い)

① 有効求人倍率…沖縄県、全国はともに前年より低下。

2021年の**雇用状況**は、有効求人数（月平均）は前年比2.3%減の24,467人に対して、有効求職者数（同上）は前年比9.4%増の30,588人となり、有効求人倍率（同上）は0.80倍となり前年より0.10ポイント低下しました。



② 完全失業率…沖縄県は前年より上昇、全国は同水準。

2021年の**完全失業率（原数値平均）**は、3.7%となり前年より0.4ポイント上昇しました。

